

第10回特別展

人類の起源とサヌカイト

—チンパンジーの文化・ヒトの文化—



'96
9/21^土→11/24^日

香芝市
二上山博物館

NIJYOSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

〒639-02 奈良県香芝市藤山1丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

〒(07457)7-1700



歴史街道

香芝市二上山博物館は「二上山と3つの石～よみがえる旧石器時代～」をテーマに開館5年目を迎えています。

第10回を数える本特別展では、本館がメインテーマとしている旧石器時代、3つの石の1つ・サヌカイトに焦点をあてます。

人類400万年の歴史のうちその99%以上が先史時代で占められ、250万年前ごろにはすでに石器が出現しています。霊長類ヒトは、この400万年間に道具をつくり、火を使い、言葉をおぼえて人間になりました。2万年前には躍動感あふれる芸術活動もはじめています。ヒトはどこからきて、どこへいこうとしているのでしょうか。地球環境に関する議論がかまびすしい昨今、多くの人々が興味をおぼえるテーマでしょう。

本特別展では、チンパンジーも道具を使い、しかも石器すら使っているという、霊長類学の最新の研究成果も展示、紹介します。チンパンジーたちは、この石器（叩き石と台石）でアブラヤシの種を叩きつぶして

中の胚を食べるのですが、同じような石器は旧石器時代、縄文時代、弥生時代の遺跡からよく出土しますし、一部の地域では、民俗資料にもあります。

また、今から2万年前、二上山のサヌカイトは近畿地方一円にひろがり、当時の人々にとっては貴重な資源でした。その資源を求めて人々は交流し、そこに文化の伝播、拡散、共有が生じました。二上山を中心として約100km圏内には1つの文化圏が形成され、二上山地域が当時の文化の発信源であったといえましよう。近畿地方の各地から出土した旧石器を一同に展示します。

特別展開連催し物

9月29日(日) 10:00～16:30

シンポジウム「古代大和の遡源をさぐる
—二上山旧石器文化の検討—」

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

講師：山中一郎氏(京都大学文学部教授)

松藤和人氏(同志社大学文学部助教授)

山口卓也氏(関西大学博物館学芸員)

辻 学氏(羽曳野市遺跡調査会調査員)

絹川一徳氏(財)大阪市文化財協会調査員)

* 事前申し込み不要・当日観覧券必要

10月6日(日) 14:00～16:00

公開講演会「太古への憧憬・木の道具と生活文化」

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

講師：鈴木忠司氏(京都文化博物館主任学芸員)

* 事前申し込み不要・無料

10月13日(日) 10:00～16:30

シンポジウム「チンパンジーの文化とヒトの文化
—人間とはなにか—」

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

講師：日高敏隆氏(滋賀県立大学長)

西田利貞氏(京都大学理学部教授)

山中一郎氏(京都大学文学部教授)

市川光雄氏(京都大学アフリカ地域研究センター助教授)

松沢哲郎氏(京都大学霊長類研究所教授)

* 事前申し込み不要・当日観覧券必要

10月27日(日) 10:00～16:00

体験教室「サヌカイトで石器づくり!!」

会場：香芝市ふたかみ文化センター・第1～3会議室

指導：佐藤良二(香芝市二上山博物館主査)

* 事前申し込み必要・当日観覧券必要。申し込み方法などは香芝市二上山博物館へお問い合わせください。

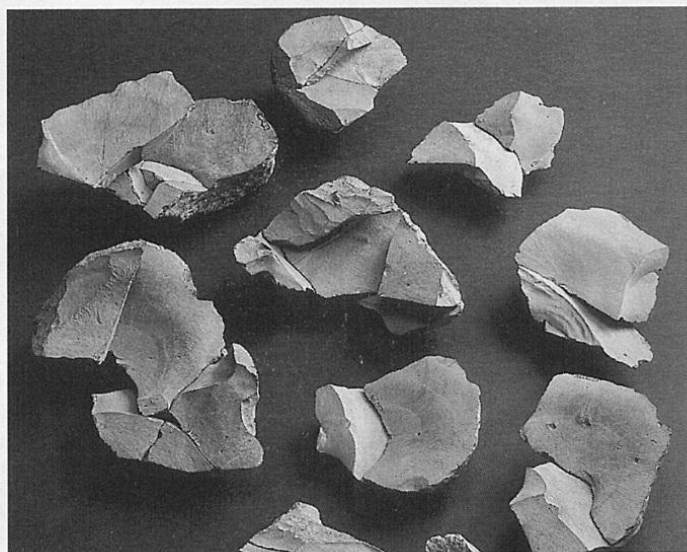
11月17日(日) 14:00～16:00

公開講演会「近畿の旧石器文化と二上山」

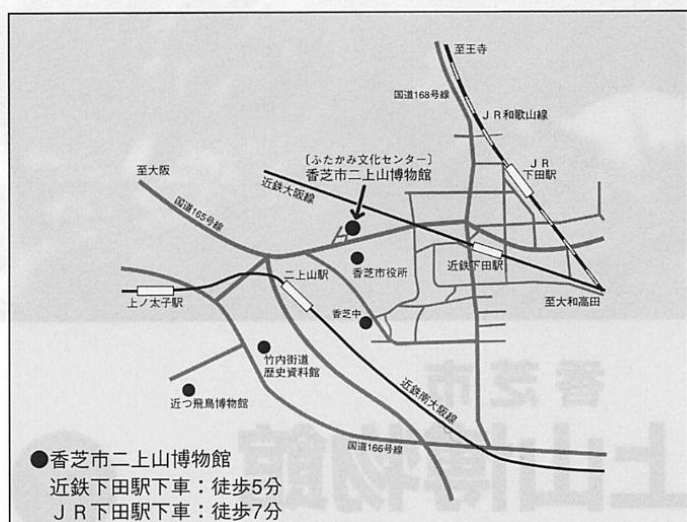
会場：香芝市ふたかみ文化センター・第2～3会議室

講師：佐藤良二(香芝市二上山博物館主査)

* 事前申し込み不要・無料



瀬戸内技法の接合資料(香芝市鶴峯荘第1地点遺跡)



●観覧料／一般…300円(250円) 高校・大学生…200円(150円) 小・中学生…150円(100円) ●()内は団体20名以上の料金。
●開館時間：9:00AM～5:00PM(入館は4:30PMまで) ●休館日：月曜日 ●常設展も観覧できます。

表面写真：チンパンジーのアブラヤシ割りヒトの子どものメタ道具使用(松沢哲郎氏提供)